

和

平成18年11月10日(金)

No. 40

文責：北澤

市浦小学校5年学級通信

来週の時間割です。

	13日(月)	14日(火)	15日(水)	16日(木)	17日(金)
行事	全校朝会	ドリルタイム	体育集会	読書タイム	児童集会
1時間目	社会	国語	国語	音楽	国語
2時間目	算数	学活(自習)	社会	国語	理科
3時間目	道徳	書写(毛筆)	家庭科	理科	図工
4時間目	国語	算数	音楽	算数	体育
5時間目	社会	体育	算数	図工	音楽
6時間目	×	英語学習	クラブ	体育	×
バス	15:00	15:45	16:20	15:45	15:00
	16:20	16:30		16:30	15:45
					16:20
連絡事項	北澤出張	北澤出張	貯金日	貯金日	水曜日課
		英語学習	金曜日課		

※13日・14日は、北澤研修のため不在です。

※14日(火)の2時間目は、校内研のため自習です。課題は、読書です。

※14日(火)は、英語学習があります。

※15日(水)は、曜日交換のため金曜日課です。

※17日(金)は、曜日交換のため水曜日課です。

人権に関するワークショップin市浦

木曜日の5・6時間目に、高学年を対象とした『人権に関するワークショップ』が開かれました。講師は青森市からいらっしゃった佐藤秀樹先生です。ご存じの方もいらっしゃるかもしれませんね。様々な講演等で活躍しています。

「権利」と「責任」について、わかりやすく楽しんで参加しながら理解するという内容でした。(詳細は、子どもたちに聞いてみてください。なかなか考えさせられますよ。)佐藤先生のテンポの良い展開に、どの子ども最後まで集中できた活動となりました。「権利は、みんなが納得し承認を得てはじめて成立する」という一言に、聞き入っていた子どもたち。自分の権利、子どもの権利、みんなの権利。さまざまな角度から考えることができた2時間となりました。

一つだけワークショップの内容を紹介!! →ご家庭でもチャレンジしてみませんか?

わたしたちの権利リスト

※次の10項目を、一つずつ切り捨てていかなければなりません。切り捨ててもいい順番に番号をつけていきましょう。ただし、このリストを見ているみんなで話し合い、みんなが納得した上で順番をつけること。(一人で決めてはいけません。)最後に残ったものと、切り捨ててしまったものについて考えてみましょう。

- ・わたしだけの部屋を持つ権利(ひみつを持つ権利)
- ・きれいな空気を吸う権利
- ・お小遣いをもらう権利
- ・愛し、愛される権利
- ・いじめられたり、命令・服従を強制されない権利
- ・みんなと異なっていることを認められる権利
- ・毎年、自宅から離れたリゾート地で休暇を楽しむ権利
- ・(充分な)食べ物と、(きれいな)水を与えられる権利
- ・遊びのための時間をもつ権利
- ・話を聞いてもらう権利(自分の考えを言う権利)



作文紹介：学習発表会編

あゆみ：さいごの一回

「平成18年九月十四日」
この一声から始まった。十月二十九日。午前九時から学習発表会が行われた。わたし達は、上ノ国町に交流学习に行ったときの事を発表した。でも、学年トップバッターということもあって、みんなプレッシャーとの戦いだった。でも、一生けん命にがんばった。

最初は、電車チーム。とても大きな声。次は文殊チーム。このチームも大きな声。そして次はわたしのチーム。わたしはイカのくん製を担当。四人のチームでの発表。大きな声で発表できるか心配だった。発表では、なるべく大きな声を心がけていた。そしてしゅんたろう君の登場で、体育館は笑いがあふれた。とても苦勞してイカを作ったかいがあった。

他のチームの発表も終わり、最後はよさこい。今まで何回も何回も失敗のくり返しが続いていたけど、最後は、

「どっこいしょ!」

ピシッと決まった。わたしは、ステージの上からみんなの動きが見えている。やっぱりきれいに決まったと思う。



全て、もの作りは自分たちで居残りもして苦勞して作った。よさこいだって、みんなと合わせるのに時間をかけて、やっと覚えた。今までの苦勞がつまった発表は、よかったと思う。もう同じ発表をやることはないだろう。それでも、さいごの一回は、今までで一番いい発表になったと思う。

作文紹介：学習発表会編

ゆうた：五年生の発表

今日は、まちにまった学習発表会の日。だからぼくはとても楽しみだった。一年生のはじめの言葉が終わったら準備をして、五年生の発表が始まった。ぼくは少しきんちょうした。そして旧笹浪家の発表がはじまった。ぼくが、「旧笹浪家は、今から約百八十年前の千百三十八年になくなった、能登屋笹浪家の五代目、久右エ門が建てたと伝えられています。」とちゃんと言えた。だからぼくは、ほっとした。それで次のセリフの、「住む人が使うスペースのことです。そのとなりにはフスマ・トコがあります。」これもまたちゃんとと言えたから良かった。そして、最後のセリフの、「さまざまな活動を通して、ぼくたちはまた一つ成長できたと思います。」と、このセリフもちゃんと覚えてよかった。そしてよさこいもちゃんとまちがわずにやれたからよかった。こうして無事に五年生の発表が終わった。ぼくのセリフの通り、さまざまな活動を通してぼくたちはまた一つ成長できたと思う。



かずや：ドキドキ

はやてくんの放送がかかりました。てんりくんがセリフを言う
と次はぼくが言う番。
「ドキドキ。」

きんちょうしているけど、練習と同じ大きな声が出せた。文殊チームの発表が終わった後は、ぼくが入っているチーム、イカのくんせいチームの発表がついに始まった。ステージの真ん中に行くと、すごいきんちょうして心ぞうが飛び出しそうになった。でも、練習だと思ってやればできると自分の心の中で言った。最初のぼくのセリフで、低学年がかなりぼくしようして、だんだんきんちょうしなくなってきた。その後もあゆみさんのセリフにあわせて、ぼくとてんりくんとしゅんたろうくんがげきをした。すごくうまくいってとても気持ちがよかった。あと一つ大事なことがある。それは、北海道ノ国小学校の人がひろうしてくれた、市浦小学校のよさこいよりすごくむずかしいよさこい。旧笹浪家チームの発表が終わって、前に出てきて決められた位置に立つと、かずひさくんの、「構え！」という言葉で構え始めた。「ハッ。」「ヨー。」などの速いリズムがあつて大変だけど、すごくうまくいった。最後のどっこいしょで、とても気持ちがよかった。くいのないようになれたのがとてもうれしかった。



なな：きんちょう

「トキトキトキトキ。」
今日は学習発表会。わたしは始める前から心が小さく鳴っている。「ドキドキドキドキ。」
一歩ずつぶたいに近づくにつれ、だんだん音が大きくなる。それで、もうぶたいに上がったときには、心のはれつしてもおかしくない音で鳴っている。「バックンバックンバックンバックン。」
きんちょう菌が鳴らしている。そして、「平成十八年九月十四日。」
最初の言葉が始まってしまった。わたしの手が汗だくになってきた。言えるかどうか、心配になってきた。もし、いえてもまちがえるかもしれない。「バックンバックンバックンバックン。」
きんちょう菌が増えてきた。おさまりませ〜ん。というときに、順番がまわってきてしまった。「五年生最大の行事である、交流学習へ出発したのであります。」

(言えた！)
きんちょう菌が、ちよつとずつ減っていく。とにかく、一つ目クリアということになった。でも、まだセンターとよさこいの発表が残っている。そう思つてぶたいをひっこんだ。「イカのくんせい、完成！」
イカのくんせい作りの発表が終わると、次はいよいよセンターだ。わたしは、ナレーターと言っていることを表現する役だ。表現する役は初めてだから、がんばってやらなきゃ。それで頭がいっぱいだった。そのおかげか、センターの発表は自分でもうまくできたと思つた。

「カラッカラン。」
かなさんしゃべり始めると、鳴子が小さく鳴ってきた。そして、みんながならび始めた。センターの発表では、きんちょう菌が出てこなかったから、よさこいもカッコよく決めたいと思つていた。と、その時、「カラッ。」
(あっ！！)

おどり始めた時に、鳴子が落ちてしまった。「ドクンドクンバックンバックン。」
きんちょう菌がまたもや出てきた。最後の最後なのに。でも、見ている人たちは、何も言わずにいてくれた。最初は失敗したけれど、最後は……。そう思つて、一生けん命やつた。「どっこいしょ！！」

